

# トマト畑

葉かび病・すすかび病予防に **ダコニール**普及会

**ダコニール1000**

葉かび病・すすかび病はトマトに生育不良や着果不良を引き起こす重要な病害です。この二病害は病徴が似ており判別が難しく、両病害を考慮した防除が必要で、潜伏期間が長く、二次感染以降は一気にまん延するため、発病してから防除では手遅れになります。両病害に卓効を示すダコニール1000を活用し、予防・初期防除に努めましょう。

高品質なトマトを安定的に生産するためには、発生が懸念される病害虫に対する予防や早期対策が不可欠です。特に冬春取りトマトは施設での加温栽培となるため、湿気や高温を好む多くの病害虫が増殖しやすくなります。

注意を要する。ここでは、冬春取りトマトに発生しやすい病害虫とその防除対策、発生と思われる症状の確認ポイントなどをまとめた察知表を紹介する。

トマトや他の果菜類に! **ロイヤル インダストリーズ**

**今注目! バイオステミュラント資材3材!**

①海藻資材「ケルパック」②納豆菌/生菌資材「グルタン」③核酸・アミノ酸資材「DiNAプロリン1号」

干ばつ、日照不足、長雨、過湿病気による被害を受けた作物は元気がなくなり、時には回復不能の壊滅的な被害を受けることもありますが、上記3材を適宜組み合わせ定期的使用するとそれらの被害は回避でき、生育旺盛、品質向上につながり、手取りアップが期待できます。

ハチへの影響少ないアザミウマ防除剤! **Meiji Seika ファルマ**

**「トマト・ミニトマトに適用拡大! 使いやすいになりました」**

ファインセーブはアザミウマ類、タバココナジラミ類、サビダニなどに高い効果のある殺虫剤。高い速効性で食害だけでなく、害虫によるウイルス病被害の軽減も期待できます。新規作用機作で、既存剤に感受性の低下した害虫にも有効。ミニトマトで適用拡大し、トマトと両方で使用可能に。ハチなどに影響が少ない点が好評で、生育期や収穫期の防除に使用されています。

使って簡便 安全安心 確かな効果 **南海化学**

**クロルピクリン錠剤**

クロルピクリン液剤を特殊な方法で固形化した錠剤タイプの土壌殺菌・殺線虫剤です。処理方法は規定の量を圃場(ほじょう)にばら撒き、トラクターで混和、ポリ等で被覆するだけの作業です(被覆は必ず必要です)。

被覆後、培地内のわずかな水分で錠剤のフィルムが緩みガスが放出拡散されます。

詳しくは病害虫防除所等の関係機関へお問い合わせください。

**やっぱりダコニール**

トマト・ミニトマトの葉かび病・すすかび病を同時に防除!

ご存知ですか? ミニトマトも収穫前日まで使えます!

**特設サイト ダコニール 倶楽部**

Daconit Club daco-club.com

「野菜の病害と防除」や「病害図鑑」など、色々なコンテンツをご用意いただけます。

病害の同時防除&耐性菌対策に **ダコニール 1000**

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は環境などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

ダコニール普及会  
クミアイ化学工業株式会社/住友化学株式会社  
事務局:(株)エス・ディー・エス バイオテック 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-5

**トマトの高品質化と成り疲れ防止、手取りアップに!**

＜バイオステミュラント資材3材＞

ケルパックをはじめ複数資材の組合せ処理で相乗効果抜群!!

海藻資材 **ケルパック66** 規格:14.5g,10g,25g入り

核酸・アミノ酸資材 **DiNAプロリン1号** 規格:500mg,1g,5g入り

納豆菌資材 **グルタン** 規格:1g,10g,18g入り

商品について詳しい内容のお問い合わせは下記へ

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19  
TEL:03(3489)1408 FAX:03(3489)9308  
E-mail: info@kelpak.co.jp  
ホームページ: www.kelpak.co.jp

**新規作用性 殺虫剤**

**ミニトマトに適用拡大!**

**ファインセーブ プロアブル**

アザミウマ類、サビダニ類、タバココナジラミ類等に有効!  
新規作用機作で既存剤に感受性低下した害虫に有効!  
マルハナバチに対して影響が小さい!

適用害虫の一例

アザミウマ類 サビダニ類 タバココナジラミ類

ファインセーブは登録商標5543984号

北興化学工業株式会社 〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号  
日本化薬株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号  
meiji Meiji Seika ファルマ株式会社 〒104-8002 東京都中央区京橋二丁目4番16号

**「青枯病」「半身萎凋病」その他、土壌病害に**

**クロルピクリン 錠剤**

使って簡便! 安全・安心! 確かな効果!

クロルピクリン錠剤に関するお問い合わせは

**南海化学株式会社** 〒115-0051 東京都北区浮間5丁目8番18号 TEL:03-5916-1895  
土佐支店:〒781-8010 高知市枝機通4丁目10番1号 TEL:088-831-6191

害虫	特徴	葉(花)・茎・果実を見る	害虫・トラップを見る	主な有効薬剤
オオタバコガ	若齢幼虫が新芽の先端や花蕾・葉を食害し、葉には丸い小さな穴があく ・中老齢幼虫が茎や果実の内部に食入し、穴から糞を出す ・食入部分から上の生育が抑制され、折れ曲がることもある	・食入した穴のある果実や茎の内部に中老齢幼虫がいる ・若齢幼虫は見つけにくく、ハスモンヨトウ幼虫と間違えやすい ・主に秋に発生する	・食入した穴のある果実や茎の内部に中老齢幼虫がいる ・若齢幼虫は見つけにくく、ハスモンヨトウ幼虫と間違えやすい ・主に秋に発生する	スピノース顆粒水和剤(5)、アファーム乳剤(6)、コテツフロアブル(13)、カスケード乳剤(15)、マトリックスフロアブル(18)、トルネードエースDF(22A)※1、プレバノンフロアブル(28)、グレース乳剤(30) ＜天敵・生物農薬＞ BT剤(エスラクトDFほか)
ハスモンヨトウ	・卵は葉裏などに集団(卵塊)で産み付けられ、産卵が付けたクリーム色の鱗毛で覆われる ・ふ化幼虫は葉の裏を残して集団で食害し、葉は白変する ・果実の表面を食害して丸い穴(窪み)を作る ・オオタバコガのように果実の内部まで潜り込まない	・若齢幼虫は集団で食害し、3齢幼虫以降に分散する ・老齢幼虫は昼間に土中に潜り、夜間に地上部に上がってくるので見つけにくい ・主に秋に発生する	・若齢幼虫は集団で食害し、3齢幼虫以降に分散する ・老齢幼虫は昼間に土中に潜り、夜間に地上部に上がってくるので見つけにくい ・主に秋に発生する	ディナSC(5)、アニキ乳剤(6)、ノール乳剤(15)、フルコンフロアブル(18)※1、アクセルフロアブル(22B)、フェニックス顆粒水和剤(28)、グレース乳剤(30) ＜天敵・生物農薬＞ BT剤(エスラクト水和剤ほか)
タバココナジラミ、オンシツコナジラミ	・幼虫は甘露を排泄し、葉の表面をベタベタにする ・甘露が多いとすす病が発生し、すすに覆われた部分は着色不良になる	・寄生している葉に産卵した成虫が飛び立つ ・タバココナジラミの成虫は薄く黄白色、オンシツコナジラミは純白色でやや大きい ・タバココナジラミは重要病害の黄化萎凋病(TYLW)や黄化病(ToCV)を媒介する ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、施設内への侵入や施設内での増殖の目安にする	・寄生している葉に産卵した成虫が飛び立つ ・タバココナジラミの成虫は薄く黄白色、オンシツコナジラミは純白色でやや大きい ・タバココナジラミは重要病害の黄化萎凋病(TYLW)や黄化病(ToCV)を媒介する ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、施設内への侵入や施設内での増殖の目安にする	トラスフォームフロアブル(4C)、ディナSC(5)、コロマイド乳剤(6)、ラーネ乳剤(7C)※1、チェス顆粒水和剤(9B)、コロ顆粒水和剤(9B)、マツ乳剤(15)、アフロエースフロアブル(16.21A)※1、クリアールフロアブル(23)、ベネビアOD(26)、ファインセーブフロアブル(未設定)※4、ベニダチチ、フーモン、ムシシラップ、サンクリスタル乳剤、サファイル乳剤、粘着くん液剤 ＜天敵・生物農薬＞ エントリッパ※2、エルカド※2、ゴッツA※2、マイコス※2、プリファード水和剤※2、ボタニガードES
チュウリップヒゲナガアブラムシ、モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ	・チュウリップヒゲナガアブラムシやモモアカアブラムシは新芽や茎に集団で寄生し、ワタアブラムシは葉裏に寄生する ・吸汁された葉は緑色が薄くなり萎縮する ・排泄した甘露によってすす病が発生し、すすに覆われた部分は着色不良になる	・モモアカアブラムシの体色は緑黄色もしくは赤褐色、ワタアブラムシは黒褐色が多い ・チュウリップヒゲナガアブラムシは緑黄色でモモアカアブラムシよりも体色が細長く触角や脚が長い ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	・モモアカアブラムシの体色は緑黄色もしくは赤褐色、ワタアブラムシは黒褐色が多い ・チュウリップヒゲナガアブラムシは緑黄色でモモアカアブラムシよりも体色が細長く触角や脚が長い ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	トラスフォームフロアブル(4C)、チェス顆粒水和剤(9B)、コロ顆粒水和剤(9B)、マントフロアブル(23)、ウララDF(29)、フーモン、ムシシラップ、アムリセーフ、粘着くん液剤、エコピタ液剤 ＜天敵・生物農薬＞ アフィール※2、チャパラ※2、テントップ※2、カメコス※2、ゴッツA※2、ボタニガードES
トマトハモグリバエ、マメハモグリバエ、ナスハモグリバエ	・成虫が産卵管を挿して産卵や葉液の摂取を行うため葉に多数の白い斑点が残る ・ふ化幼虫は葉肉を食べながら葉の中を潜りし不規則な線状痕を作る ・幼虫の食害が進むと表皮だけが残り、葉全体が白変する	・幼虫は体色が黄色で潜孔の先端で見つかる ・トマトハモグリバエとマメハモグリバエは、葉から落ちて土壌表面層やマルチ上で蛹(さなぎ)になる ・ナスハモグリバエは、葉裏に付着したまま蛹になる ・大きさが2mm程度、体の大部分が黄色で、頭、胸、脚の一部が黒色である ・成虫の内臓での鑑別は困難である ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	・幼虫は体色が黄色で潜孔の先端で見つかる ・トマトハモグリバエとマメハモグリバエは、葉から落ちて土壌表面層やマルチ上で蛹(さなぎ)になる ・ナスハモグリバエは、葉裏に付着したまま蛹になる ・大きさが2mm程度、体の大部分が黄色で、頭、胸、脚の一部が黒色である ・成虫の内臓での鑑別は困難である ・黄色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	スピノース顆粒水和剤(5)、アファーム乳剤(6)、カウンター乳剤(15)、ドリガード液剤(17)、プレバノンフロアブル(28)、プレオフロアブル(UN) ＜天敵・生物農薬＞ ヒメトップ※2、ミドリヒメ※2
ミカンキイロアザミウマ、ヒラスハナアザミウマ	・花の中に好んで生息する ・成虫が花の子房に産卵すると、果実肥大後に産卵痕が白くくたれる	・白い斑点の上で花や葉をたたき、落下する成虫幼虫を観察する ・ミカンキイロアザミウマとヒラスハナアザミウマは鑑別が難しい ・両種とも黄化えそ病(TSWV)を媒介する ・黄色粘着トラップや青色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	・白い斑点の上で花や葉をたたき、落下する成虫幼虫を観察する ・ミカンキイロアザミウマとヒラスハナアザミウマは鑑別が難しい ・両種とも黄化えそ病(TSWV)を媒介する ・黄色粘着トラップや青色粘着トラップで成虫を誘殺し、侵入や増殖の目安にする	ディナSC(5)、アニキ乳剤(6)※3、コテツフロアブル(13)※3、カウンター乳剤(15)、モベントフロアブル(23)、ウララDF(29)※3、グレース乳剤(30)、ファインセーブフロアブル(未設定)、ジャスモメート液剤(忌避剤) ＜天敵・生物農薬＞ ボタニガードES
トマトサビダニ	・新芽付近や葉柄の褐色から症状が現れる ・葉裏の加害部は先兆を帯びた褐色に、葉全体も黄褐色になり裏側に向かってすすり返る ・加害された葉は褐色化する ・果実表面が褐変硬化して肥大が停止する	・黄褐色でクサビ型の体型、体長0.2mm程度と極めて小さい ・夏から秋の乾燥した時期に被害が出やすい	・黄褐色でクサビ型の体型、体長0.2mm程度と極めて小さい ・夏から秋の乾燥した時期に被害が出やすい	コロマイド乳剤(6)、コテツフロアブル(13)、カスケード乳剤(15)、マイコネフロアブル(20D)、ダートンフロアブル(21A)、クリアールフロアブル(23)、グレース乳剤(30)、ファインセーブフロアブル(未設定)、サンクリスタル乳剤、サファイル乳剤

病害	特徴	葉・茎を見る	果実・根を見る	その他	主な有効薬剤
葉かび病	葉の裏面に黄色の斑(後に褐変) 葉かび病:比較的明るい黄色斑紋 すすかび病:くすんだ淡黄色斑紋 葉裏に褐色のかび 葉かび病:灰褐色～褐色のかび すすかび病:褐色～黒褐色のかび ※なお病斑での鑑別は熟成を要する	—	—	葉かび病は20～25度でまん延しやすく、すすかび病は25～30度でまん延しやすい	イデクレーン水和剤、クレーンキャップ、ダコニール1000、ベルクトフロアブル、ベンコセブフロアブル、トリフィン乳剤、ベジセイバー、アミスターオプティフロアブル、ネクスターフロアブル、ラーネ乳剤、ジーファイン水和剤、オルバ顆粒水和剤、シクナムWDG
斑点病	葉に2.3mmの褐色斑点(周囲が黄色) 病斑中心部が破れやすい	まれに果実に病斑	—	—	【トマト・ミニトマトで登録されている農薬】アミスターオプティフロアブル、ロパール水和剤、オルバ顆粒水和剤 【ミニトマトでのみ登録されている農薬】アグロケア水和剤、アフェットフロアブル、ベルクトフロアブル、ダコニール1000、ベジセイバー、カーニバル水和剤
輪紋病	数mm～10mmの褐色同心輪紋 葉は多湿条件下で病斑中心部にかびが発生	果実に少しぼんぼん状の同心輪紋	病勢が進むと株が枯れ上がる	—	ダコニール1000、ロパール水和剤、ネクスターフロアブル、ベンコセブフロアブル、Zボルドー
灰色かび病	葉にしばしば灰色のかびを伴う大型病斑 茎に長楕円形の大型病斑	果実が軟化腐敗し、灰色のかびを生じる	—	主茎の下部が侵されると青枯病に似た全身萎凋症状となる	インプレッションクリア、カリグリーン、クレーンキャップ、サンヨール、セイバーフロアブル20、ダコニール1000、タパー、ベルクトフロアブル、ピカットフロアブル、ベジセイバー、ネクスターフロアブル、アミスターオプティフロアブル、オルバ顆粒水和剤、シクナムWDG、シクナムフロアブル、カーニバル水和剤
疫病	葉に緑色の不規則な病斑、大型の褐色病斑に拡大(最初は熱湯をかけたような症状) 茎にも褐色病斑	果実が褐色となり腐敗し、かびを生じる	—	—	イデクレーン水和剤、クレーンキャップ、ダコニール1000、プロボス顆粒水和剤、ライイフロアブル、ベジセイバー、サンゴDMフロアブル、ピロクフロアブル、アミスターオプティフロアブル、ベンコセブフロアブル、ジーファイン水和剤、フェスティバル水和剤、ホライズンドライフロアブル、レーバフロアブル、カーニバル水和剤、フォロゴールド
かいよう病	【病斑型症状】 中下葉の葉縁に黒褐色病斑を生じ、病斑の拡大、葉縁の巻き上がり 茎に褐色のかさぶた状の病斑 【葉洞型症状】 葉部に淡褐色に変色、粉状化、空洞化 【葉凋型症状】 中下葉に生じおとれ水斑、中下葉の脈間が黄化・褐変 茎に褐色のかさぶた状の病斑を生じることがある 葉部に淡褐色に変色、粉状化、空洞化	果実に褐色のかさぶた状の病斑(症状のない場合も多い)	病勢が進むと株が枯れ上がる	—	【トマト・ミニトマトで登録されている農薬】 野菜類種子消毒用イソボルドーA 【トマトのみで登録されている農薬】 カスミンボルドー、カッパーサン水和剤、マイコシールド
うどんこ病	葉に白い粉をふったようなかびが生じる	—	—	—	イデクレーン水和剤、インプレッションクリア、カリグリーン、クレーンキャップ、サンヨール、ダコニール1000、フーモン、ベルクトフロアブル、ピカットフロアブル、ベジセイバー、トリフィン乳剤、ネクスターフロアブル、ジーファイン水和剤、シクナムフロアブル、カーニバル水和剤、ボタニガードES
半身萎凋病	小葉の部分的な萎凋 葉縁からさび形に黄化・枯死 維管束部の褐変	—	—	—	土壌消毒剤のみ登録がある クロルピクリン、ディナベックス、ハスアジド、ガスタード、キルバー
青枯病	葉の萎凋 茎先端部より萎凋 維管束部の褐変	細根が褐変・腐敗	—	茎切断面から白色の菌泥が出る	土壌消毒剤のみ登録がある クロルピクリン、ハスアジド、ガスタード、ソイリン
萎凋病	下位葉から黄化・萎凋 維管束部の褐変	感染した根が褐変	—	病勢が進むと株が枯れ上がる	ベレート水和剤 【土壌消毒剤】クロルピクリン、ディナベックス、ソイリン、ハスアジド、ガスタード、キルバー
軟腐病	葉から萎凋・黄化 茎に糸状、不定形の黒ずみ 節部が軟化腐敗、悪臭を伴う	—	—	—	コサイトボルドー、ラクトガード水和剤、Zボルドー、マスタピース水和剤
ウイルス病	葉にモザイク、黄化、えそ症、萎凋、葉巻、糸葉、葉巻など葉にえそ条斑(葉にえそ斑があるとき) 茎内部は奇形、えそ(茎葉にえそがあるとき)	—	—	—	登録農薬はない

**冬春 トマトの 病害 & 害虫**

**主な病害虫と有効な防除薬剤**

農研機構 植物防疫研究部 作物病害虫防除研究領域  
生物学的病害虫防除グループ 長

田田 昌春

**トマト・ミニトマトの病害をまとめて予防!**

**殺菌剤**

**ベジセイバー®**

例えば、こんな時にベジセイバーがお勧め!

- 灰色かび病と疫病で困っている。
- 葉かび病とすすかび病で困っているけど、初期病斑では見分けがつかない!
- これまで使っていた薬剤の効きが悪くなってきた…葉かび病が抑えきれない…。
- 果実への汚れが少ない薬剤が欲しい。

有効成分  
ベンチオピラド(6.4%) × TPN(40.0%)  
殺菌剤分類 7 × 殺菌剤分類 M5

ベジセイバー普及会 (株)エス・ディー・エス バイオテック 北興化学工業株式会社 (事務局)三井化学アグロ株式会社

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は環境などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。